



平成 29 年度

飯綱町議会の概要

【改選後】

平成 29 年 4 月 1 日	現在
人 口	11,481 人
世帯数	4,173 世帯

長野県 飯綱町議会

飯綱町の概要

～「飯綱町ホームページ」より～

◆沿革

平成 17 年 10 月 1 日、牟礼村と三水村の 2 村の合併により町制を施行しました。町内から発掘されている遺跡から推測して、遅くとも縄文時代草創期から先祖が住んでいたことが推測されています。

江戸時代には武州（江戸）と加州（金沢）とを結ぶ街道の中間点にあたり、宿場町として栄えました。

◆飯綱町の位置

長野県の北部に位置し、東西に 13.9Km、南北に 15.6Km、面積は 75.00 km²となります。西・南は長野市、北は信濃町、東は中野市に隣接する、飯綱山から斑尾山までの穏やかな丘陵地です。町の地形はすり鉢状をなし、底辺部となる町の中心には鳥居川が流れています。



◆産業

豊かな自然と清らかな水を活かし、りんご・水稲をはじめとする農業が基幹産業です。また、飯綱東高原の日帰り温泉を中心に、スキー場、ゴルフ場など年間を通じて多くの観光客が訪れます。

◆気候

日本海の影響を受ける積雪寒冷地で、内陸性気候のため寒暖の差が激しく、夏期は最高気温が約 35℃、冬季は最低気温が -10℃くらいになります。

1. 議会の費用

(1) 議会費の推移

(単位：円)

区 分	26年度決算額	27年度決算額	28年度決算額
報 酬	31,068,000	30,092,506	27,228,000
給 与	8,766,600	8,687,700	8,780,400
職員手当等	15,455,008	15,981,770	15,145,110
共 済 費	17,943,487	21,150,888	13,032,930
報 償 費	161,496	578,148	187,811
旅 費	578,674	568,060	1,744,480
交 際 費	20,383	65,456	33,126
需 用 費	1,436,343	1,624,897	1,648,902
役 務 費	0	33,766	0
委 託 料	453,168	485,373	474,691
使用料及び賃借料	1,200	260	1,500
備品購入費	0	0	0
負担金補助及び交付金	184,000	145,500	147,000
議会費計 (A)	76,068,359	79,414,324	68,423,950
前 年 比	104.99 %	104.40 %	86.16 %
一般会計 (B)	6,453,962,560	6,814,246,619	7,065,609,431
構成比 (A/B*100)	1.18 %	1.17 %	0.97 %

(2) 議員報酬

期 間	議 長	副議長	委員長	議 員
H17.10.1～ H17.11.30	269,000 円	184,000 円	174,000 円	160,000 円
H17.12.01～ H21.10.29	247,500 円	173,000 円	163,600 円	152,000 円
H21.10.30～ H29.10.29	269,000 円	184,000 円	174,000 円	160,000 円
H29.10.30～	269,000 円	196,000 円	183,000 円	174,000 円

- ・平成17年12月1日から21年10月29日までは特例条例により減額。
- ・平成21年10月30日から、議員定数を18名から15名に改正。

(3) 期末手当・旅費（平成28年度実績）

期 末 手 当	旅 費
6月 = 100分の150	宿泊料＝県外 13,000円
12月 = 100分の175	宿泊料＝県内 12,000円
※報酬月額に100分の140を乗じ、上記の率を乗じた額を支給	日 当 = 1,700円
	※別に定める近隣出張の日当は支給しない

2. 議会の構成

(1) 議会議員の任期

平成29年10月30日～平成33年10月29日

(2) 議長及び副議長の任期

議員の任期による（ただし、議員の申し合わせにより2年）

(3) 常任委員会（平成29年11月6日現在）

委員会名	条例定数	現在数	任 期	摘 要
総務産業常任委員会	8名	7名	2年	議長は辞任
福祉文教常任委員会	7名	7名	2年	
予算決算常任委員会	14名	14名	2年	議長を除く議員全員

(4) 議会運営委員会（平成29年11月6日現在）

委員会名	条例定数	現在数	任 期	摘 要
議会運営委員会	6名	6名	2年	

(5) 特別委員会（平成29年11月6日現在）

委員会名	定 数	摘 要
議会報編集調査特別委員会	6名	

(6) 議会事務局

職員数は、職員定数条例により2名（事務局長1名、書記1名）。

(7) 広域連合議会・一部事務組合議会

名 称	選出数	構成市町村
長野広域連合議会	2名	長野市・須坂市・千曲市・坂城町・小布施町・高山村・信濃町・飯綱町・小川村
北信保健衛生施設組合議会	2名	中野市・小布施町・山ノ内町・長野市豊野町・信濃町・飯綱町
北部衛生施設組合議会	5名	信濃町・飯綱町

3. 議会議員の数

(1) 議員定数の推移

	初代	第2代	第3代	第4代
任期	H17. 10. 30～ H21. 10. 29	H21. 10. 30～ H25. 10. 29	H25. 10. 30～ H29. 10. 29	H29. 10. 30～ H33. 10. 29
条例定数	18名	15名	15名	15名

(2) 年齢別議員数（平成29年10月30日現在）

50～59歳	60～69歳	70歳以上
3名	4名	8名

- ①最低年齢 42歳
- ②最高年齢 74歳
- ③平均年齢 65.7歳

(3) 党派別議員数（平成29年10月30日現在）

無所属	日本共産党	公明党
10名	2名	1名

(4) 在職期間別構成（旧村から換算）（平成29年10月30日現在）

12年未満	12年以上 20年未満	20年以上
10名	4名	1名

4. 定例会・臨時会（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(1) 開催回数・会期日数

	会期日数	本会議日数	休会日数	一般 傍聴者数
6月定例会	19	4	15	14
9月定例会	23	5	18	50
12月定例会	16	4	12	12
3月定例会	22	6	16	15
小計	80	19	61	91
臨時会（3回）	3	3	0	3
年度計	83	22	61	94

(2) 取扱事件数（議決分）

区分		提出者別・種類別									
		町長提出					議員提出				
		条例	予算	決算	その他	計	条例	意見書	決議	計	
定例会		22	30	12	16	80	1	15	2	18	
臨時会		0	1	0	9	10	0	0	0	0	
計		22	31	12	25	90	1	15	2	18	
審査方法	即決	0	15	0	22	37					
	委員会付託	常任	22	16	12	2	52				
		特別	0	0	0	1	1				

(3) 取扱事件数（議決分）

区分	提出者別・議決結果別											年間延べ件数
	町長提出						議員提出					
	原案可決	修正可決	否決	原案撤回	審議未了	計	原案可決	修正可決	否決	審議未了	計	
定例会	80	0	0	0	0	80	18	0	0	0	18	98
臨時会	10	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	10
計	90	0	0	0	0	90	18	0	0	0	18	108

(4) 一般質問等

6月定例会		9月定例会		12月定例会		3月定例会		計	
発言者数	テーマ数	発言者数	テーマ数	発言者数	テーマ数	発言者数	テーマ数	発言者数	テーマ数
7	20	8	22	7	20	11	33	33	95

(5) 請願・陳情

区分	処理件数		処理結果		処理件数						
	新規分	前年度継続審査	本会議即決	所管委員会審査	採択	不採択	一部採択	趣旨採択	審議未了	翌年度継続審査	取下げ
請願	11	0	0	11	11	0	0	0	0	0	0
陳情	2	1	0	3	3	0	0	0	0	0	0

(6) 議会活動日数 (第3代議会：平成28年4月1日～平成29年3月31日)

区分	本会議	委員会		研修	調査 (視察)	要請活動 (陳情)	会議	式典	議会報告会 住民懇談会	その他	計
		会期中	閉会中								
議長	19	33	23	48	6	4	33	33	11	47	257
副議長	19	33	8	44	9	4	54	15	9	12	207
議員平均	19	23	15	14	7	0	12	7	4	24	125

・議員平均は小数点以下を四捨五入

5. 「議会だより」発行状況

号数	発行日	ページ数	備考
42号	平成28年4月30日	24	
43号	平成28年7月31日	20	
44号	平成28年10月31日	20	
特別号	平成28年11月30日	4	中学生議会特別号
45号	平成29年1月31日	20	

6. 委員会等視察研修

研修日	委員会等	研修地	研修内容等
5月 30～31日	正副議長	東京都	・全国町村議会正副議長研修会
7月8日	全 員	松本市	・第1回町村議会改革シンポジウム in 長野 (主催)
7月11日	全 員	小川村	・上水内郡町村議会議員研修会
7月21日	全 員	松本市	・長野県町村議会議員研修会
9月28日	議員3名	下諏訪町	・都市・農村共生社会創造シンポジウム in 信州
7月 13～15日	議員12名	北海道芽室町	・議会改革・活性化に関わる取り組みについて
		北海道美瑛町	・議員報酬等の改正に関わる取り組みについて
11月17日	福祉文教	給食センター	・給食センター視察
		芋川前山地籍	・廃棄物最終処分施設建設計画地調査
11月30日	議会報	長野市	・町村議会広報研修会
平成29年 1月17日	全 員	松本市	・第2回町村議会改革シンポジウム in 長野 (主催)
1月20日	議員4名	白馬村	・白馬高校魅力化プロジェクトについて
2月3日	正副議長	長野市	・上水内町村議会正副議長研修会

7. 視察研修の受け入れ

受入日	議会名等	人数	研修内容
4月13日	長野県富士見町議会	8	議会改革の取り組みについて
4月14日	長野県諏訪市議会	9	議会改革の取り組みについて
4月19日	福島県会津美里町議会	9	議会改革の取り組みについて
5月10日	長野県飯田市議会	11	議会改革の取り組みについて
5月11日	千葉県東庄町議会	18	議会改革の取り組みについて
5月17日	長野県軽井沢町議会	12	議会改革の取り組みについて
5月26日	北海道斜里町議会	5	議会改革の取り組みについて
6月23日	埼玉県宮代町議会	7	議会広報の編集について
6月28日	長野県筑北村議会	15	議会改革の取り組みについて
6月28日	北海道東川町議会	5	議会改革の取り組みについて
7月5日	福島県川内村議会	12	議会改革の取り組みについて
7月6日	長野県長和町議会	14	議会改革の取り組みについて
7月6日	長野県宮田村議会	6	議会改革の取り組みについて
7月12日	東京都西多摩郡町村議会議長会	8	議会改革の取り組みについて
7月19日	鳥取県琴浦町議会	8	議会改革の取り組みについて
7月20日	宮城県東松島市議会	8	議会改革の取り組みについて
7月26日	長崎県波佐見町議会	14	議会改革の取り組みについて
7月28日	新潟県柏崎市議会	6	集落振興支援基本条例について
7月29日	富山県入善町議会	10	議会改革の取り組みについて
8月2日	岡山県里庄町議会	12	議会改革の取り組みについて
8月3日	栃木県矢板市議会	10	議会改革の取り組みについて
8月26日	奈良県町村議会議長会	32	議会改革の取り組みについて
9月28日	岩手県平泉町議会	13	議会改革の取り組みについて
9月29日	島根県邑南町議会	17	議会改革の取り組みについて
10月6日	山梨県身延町議会	9	議会改革の取り組みについて
10月25日	兵庫県播磨町議会	8	議会改革の取り組みについて
10月27日	福岡県上毛町議会	14	議会改革の取り組みについて
11月2日	埼玉県嵐山町議会	10	議会改革の取り組みについて
11月8日	茨城県高萩市議会	7	議会改革の取り組みについて
11月10日	京都府町村議会議長会	14	議会改革の取り組みについて
11月16日	北海道訓子府町議会	10	議会改革の取り組みについて
11月16日	佐賀県白石町議会	6	議会改革の取り組みについて
1月18日	長野県山ノ内町議会	6	議会改革の取り組みについて
2月3日	長野県小海町議会	2	議会改革の取り組みについて
2月6日	福島県三春町議会	11	議会改革の取り組みについて
2月13日	長野県松川町議会	13	議会改革の取り組みについて
2月14日	福島県西会津町議会	9	議会改革の取り組みについて
2月15日	新潟県出雲崎町議会	10	議会改革の取り組みについて
2月16日	茨城県大洗町議会	16	議会改革の取り組みについて
	39 団体	414	

8. 議会改革の取り組み

【平成 20 年】

1 月	町にあった第三セクター（スキー場）の破綻をきっかけに、行政はもとより議会の責任も問われることを認識し、議会改革について検討をはじめめる。
2 月	「議会だより（全戸配布）」を通じ町民アンケートを実施し、173名から回答を得る。その結果は、議会にとって決して喜べるものではなかった。
1 月～	議会改革の検討をはじめから約半年間、議会全員協議会や常任委員会、議会運営委員会等で 30 数回の自由討議や学習会、視察、研修会等を重ね、文章に整理しつつ論点の明確化を図る。
8 月 8 日	町民が求める議会像を 5 点に集約し、町民に信頼される議会をめざし 8 項目の議会改革を決定。町民周知には「議会だより・議会改革特別号」として全戸配布。
9 月	9 月定例会一般質問には、試行的に「一問一答方式」と「一括質問方式」の併用を採用。町長には反問権を認める。
11 月 28・29 日	町民に対して議会の議決責任と説明責任を果たすため、「第 1 回・町民と議会との懇談会」を 2 箇所で開催し、32 名参加。
12 月～	12 月定例会以降の一般質問方式を一本化し、「一問一答方式」とした。同じく町長には反問権を認める。
12 月～	三セクの破綻処理への行政対応をめぐる諸問題が次々と発生し、それに伴う学習会や自由討議等を 10 数回開催。
12 月 18 日	議員定数を 18 名から 15 名に改正する条例案を発議し可決される（次回の議会議員一般選挙から適用）。

【平成 21 年】

5 月 28・29・30 日	「第 2 回・町民と議会との懇談会」を 3 箇所で開催し、54 名参加。21 年度予算の特徴など 7 つのテーマについて懇談。
10 月	議会議員一般選挙。議員定数が 18 名から 15 名に。

【平成 22 年】

1 月 27 日	議員間による自由討議等で明らかとなった政策課題等を集約し、市町村合併以降はじめて「予算・政策要望書」を町長へ提出。
2 月～	町の発展につながる「政策提言」を作成するにあたり、議会への住民参加を広げ議員の政策立案能力向上にむけ、「政策サポーター制度」を創設するための検討がはじまる。4 月には町民による 12 名の「政策サポーター」が決定。
5 月～	政策サポーター 12 名と議員 15 名の協働による「政策サポーター会議」を開催。「行財政改革研究会」と「都市との交流・人口増加研究会」の 2 チームに分かれ、それぞれ 7～8 回の会合を重ねる。

11月18日	政策サポーターとの協働により完成させた「政策提言書」を町長へ提出。同時に、町民周知には「議会だより・特別号」として全戸配布。町長からは、翌年2月3日に回答書を得た。
11月27日	「第3回・町民と議会との懇談会」を1箇所で開催し、29名参加。町長へ提出した「政策提言書」の報告や町農業の活性化、将来についての意見交換。
12月	一般質問事項に対する町の検討事項・進捗状況等の報告を、6月と12月の定例会の際に提出することを申し入れ、町と合意（6月定例会には12月と3月分、12月定例会には6月と9月分）。
12月13日	2年目となる「予算・政策要望書」を町長へ提出。

【平成23年】

5月14日	「第4回・町民と議会との懇談会」を1箇所で開催し36名参加。「女性の知恵と力を集めて新しい町づくりをすすめよう」をテーマに、女性団体の皆さんを対象に開催。
10月28日	飯綱町発足後初めての模擬議会「飯綱町中学生議会・2011」を開催。中学校校舎改築記念として中学校・町・議会の共催により、7組の生徒代表が町長に対して一般質問を行った。
11月4日	政策サポーター制度による政策提言の活動に対して、第6回マニフェスト大賞において審査委員会特別賞および優秀成果賞を受賞。

【平成24年】

1月10日	3年目となる「予算・政策要望書」を町長へ提出。
2月9日	これまでの議会改革の活動に対して、第63回全国町村議会議長会定期総会において全国町村議会表彰を受賞。
3月24日	「第5回・町民と議会との懇談会」を1箇所で開催し21名参加。「女性の知恵と力で新しい町づくり」をテーマに、前回に引き続き再度女性を対象に開催。
6月10日	6月定例会で休日議会を開催し27名が傍聴。
7月29日	「第6回・町民と議会との懇談会」を2箇所で開催し10名参加。「議会基本条例案」をテーマに開催。
8月5日	「分権時代に住民自治と町の発展をめざすシンポジウム」を開催し約200名が参加。区長・組長会、町、議会の共催により、「まちぐるみ」で地域づくりを学ぶ。山梨学院大学江藤教授と名古屋学院大学西寺教授を招いて基調講演、自由討論を行う。
9月21日	9月定例会で飯綱町議会基本条例を制定。
11月2日	3団体共同によるシンポジウムを開催するなど、新たな政策提言の活動に対して、第7回マニフェスト大賞において優秀成果賞を受賞。
11月30日	4年目となる「予算・政策要望書」を町長へ提出。

【平成 25 年】

6 月～	<p>サポーター15名と議員15名の協働による「第2回議会政策サポーター会議」を発足。</p> <p>「集落機能の強化と行政との協働」と「新たな人口増対策」の2つの研究テーマに分かれ、現在までにそれぞれ5～8回の会議を開催。</p>
8 月～9 月	<p>「第7回・町民と議会との懇談会」を3会場で開催し29名参加。</p> <p>体育活動、子育て、地元の商工業等をテーマに自由な意見交換会を開催。</p>
10 月	<p>議会議員一般選挙。</p>
11 月 5 日	<p>政策サポーターとの協働により完成させた「子育て支援の町・飯綱町」政策提言書を町長へ提出。</p> <p>「新たな人口増対策」研究チームが来年度への予算に反映されるよう提出。</p>
12 月 3 日	<p>12月定例会で議員定数・報酬等調査研究特別委員会を設置。</p>
12 月 18 日	<p>5年目となる「予算・政策要望書」を町長へ提出。</p>

【平成 26 年】

2 月～	<p>議員定数・報酬等調査研究特別委員会を開催。現在までに3回の会議を開催中。</p> <p>4月に議員報酬を上げた群馬県みなかみ町を視察。</p>
6 月 4・5・6 日	<p>6月定例会で夜間議会を開催し60名が傍聴。</p>
6 月 13 日	<p>「町民と議会との懇談会」の一環として、町内企業の視察研修を行う。3社へ出向き、現状や要望等の把握に努める。</p>
6 月 17 日	<p>議会政策サポーター「集落機能の強化と行政との協働」チームが、「集落機能の強化と町行政との協働の推進のための政策提言書」を町長へ提出。</p>
9 月～	<p>議会だよりや議会活動全般について、住民に意見等を求め、関心を持ってもらうために、議会広報モニターを8名から57名に増やす。</p>
9 月 19 日	<p>9月定例会で飯綱町集落振興支援基本条例を制定。</p>
11 月 14 日	<p>政策サポーター制度による政策提言、また、その提言をもとに、予算要望や条例の制定などの実践的な活動に対して、第9回マニフェスト大賞において審査委員会特別賞および優秀成果賞を受賞。</p>
12 月 11・12 日	<p>「第8回・町民と議会との懇談会」を三水地区で開催し41名参加。</p> <p>保育園・小学校統合問題について住民の意見を聞く。</p>
12 月 16 日	<p>6年目となる「予算・政策要望書」を町長へ提出。</p>

【平成 27 年】

2 月	第 29 回町村議会広報全国コンクールにて、奨励賞を受賞。
6 月～	6 月定例会で地方創生調査研究特別委員会を設置。
6 月～	第 3 次政策サポーターを委嘱。政策サポーター16 名と議員 15 名の協働による政策サポーター会議を開催。「飯綱町における高齢者の新しい暮らし方（健康戦略）の提起」と「都市・農村の共生へ—新しい産業を生み出し、若者定住の促進を」の 2 つの研究テーマに分かれ、以降それぞれ 7 回の会議を開催。
7 月 10 日	東北信の議会議員を参集し「地方創生問題研修会」を小布施町にて開催。講師は坂本誠氏。15 議会で 162 名が参加。
7 月 25 日	町民 5 人が町行政に一般質問を行う「模擬議会」を開催。各団体等の代表が身近な具体的な問題について町長に質す。傍聴者 17 名。
8 月 9・23 日	町、議会の共催による「町民講座」を 2 回開催。講師に杉尾秀哉氏、落合恵子氏を招く。2 回合わせて聴講者 730 名。
12 月 11 日	町内企業 2 社の視察研修を行う。企業からの現状や要望等を聞く。
12 月 16 日	「予算・政策要望書」を町長へ提出。（7 回目）
12 月 16 日	議会政策サポーターと議員による政策提言書、「飯綱町におけるマスタース世代の新しい暮らし方の提起」と「都市・農村の共生へ—新しい産業を生み出し、若者定住の促進を」の 2 つの提言書を町長へ提出。

【平成 28 年】

2 月 5 日	全国町村議会議長会第 67 回定期総会において、飯綱町議会が「平成 27 年度特別表彰」を受賞。
7 月 8 日	「町村議会改革シンポジウム in 長野」を開催。呼びかけた 16 議会から 165 人の議員、事務局職員らが参加。今後も継続し年 2 回程度の開催を予定。
7 月 13 日	議会改革・活性化に関わる先進的な取り組みを研修するため、北海道芽室町議会を視察。
7 月	「議会白書（127 ページ）」を初めて発行。町民に議会活動を検証してもらう。
8 月 7 日	町、議会の共催による「町民講座」を開催。講師に法政大学総長田中優子氏を招く。聴講者約 300 名。
8 月	第 5 次議会広報モニター 50 名を委嘱。（任期 2 年）
9 月 30 日	8 年目となる「予算・政策要望書」を町長へ提出。
10 月	議員定数・報酬問題について、約 3 年にわたり特別委員会において議論を重ね、結論に至る。 ・定数は 15 名の現状を維持 ・報酬は増額 「議員定数・報酬問題に関する飯綱町議会から町民の皆さまへの訴え」を発表。

10月15日	<p>「飯綱町議会議員定数・報酬問題意見交換会」を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江藤俊昭教授による基調講演 ・議会から「訴え」の説明 ・参加者との意見交換会－積極的、建設的発言が相次ぐ ・参加町民は約70人
11月7日	<p>飯綱町議会議員定数・報酬問題に関する要望書を町長へ提出。</p>
11月11日	<p>「町村議会改革シンポジウム in 長野」の開催や議会白書の発行、議会だよりモニター制度の取り組みに対して、第11回マニフェスト大賞において優秀成果賞を受賞。</p>